令和６年度　学校評価報告書（前期）

大村市立桜が原中学校

１　教育目標

○令和６年度学校教育目標
・「 考動　～ 自分で考え　正しく動く　生徒の育成 ～　」

○引き継がれている教育目標
・「 咲かそう　こころの花　　知恵の花　　健康の花 」
　こころの花（徳：思いやりあふれる心）　　⇔　友愛
　知恵の花　（知：自ら考え、創り、解決する力）　⇔　探求
　健康の花　（体：粘り強くたくましい体）　　⇔　明朗

２　学校経営方針

○日本国憲法、教育基本法に示された精神を遵守し、長崎県及び大村市の教育方針に基づき、生徒、保護者、教職員、地域の方がそれぞれ次のように思う学校になることを目指して教育活動を展開する。

・生徒が「行きたい」と思い、保護者が「行かせたい」と思う、魅力ある学校
・教職員が「やりがいがある」「本校の一員で良かった」と思う、誇りある学校
・地域の方が「応援したい」「共に子供を育てたい」と思う、開かれた学校

３　重点努力目標

友 愛　①自己有用感をもたせ、自己教育力を身に付けさせる。
　②人を思いやる気持ちを育て、冷やかしやからかい、いじめのない学校にする。
　③互いに切磋琢磨しながら成長する集団（学級、学年、生徒会、部活動）にする。

探 求　①学習規律を身に付けさせ、家庭学習を充実させる。
　②夢や目標を明確にし、進んで学びに向かう態度を育成する。
　③物事を筋道を立てて考えたり、説明したりする力を身に付けさせる。

明 朗　①明るく元気な挨拶にあふれる学校にする。
　②各学校行事に真剣に取り組ませ、達成感を味わわせる。
　③安全教育、健康教育、食育をとおして命の尊さを重んじさせ、命を輝かせる。

４　アンケート・自己評価

NO.	領域	項　目	質　問　内　容	アンケート結果（肯定的割合　%）			分析及び改善策
				生徒	保護者	教職員	
1	学校運営	教育目標の具現化	本校は、「自分で考え　正しく動く生徒の育成」を行っている。	83	81	88	・１、２、３については、概ね肯定的な評価である。 ・「４いじめ対策」「５不登校対策」については、生徒に寄り添いながらより丁寧な対応をしていく必要がある。 ・「５不登校対策」については、担任等の家庭訪問やSC、conne、あおば教室等の学校外の関係機関と連携を継続しながら対応していく。
2		積極的生徒指導	本校は、温かく生徒に寄り添い、正しく成長させようとする生徒指導を行っている。	83	78	98	
3		情報公開	本校は、学校だより、ホームページ、tetoruでの配信等をとおして情報公開を行っている。	94	94	98	
4		いじめ対策	本校は、いじめの早期発見や防止のために対策を行っている。	64	62	93	
5		不登校対策	本校は、不登校及び不登校傾向の生徒・保護者に寄り添い丁寧に対応を行っている。	78	72	98	
6	学力の保障	教科指導	本校の職員は、学力の基礎・基本を身につけさるために「わかる授業」を行っている。	79	60	95	・「６教科指導」については「めあて」と「まとめ」の取組や授業振り返りシートの活用を教職員で共通理解のもと全教科で行っている。引き続き行いながら学力向上に努める。 ・「７家庭学習」「８特別支援教育」については、生徒が主体的に学習に臨めるように、その目的や授業と関連した学習課題の設定や学習方法のアドバイスを行う等、策を講じる必要がある。家庭学習計画の入力は全校生徒で引き続き継続する。 ・「10学力調査活用」については、校内研究推進部会を中心に、学力調査の結果を分析し、各教科で対策を講じる。
7		家庭学習	本校の生徒は、平日２時間以上の家庭学習（塾や家庭教師を含む）を行っている。	53	32	21	
8		特別支援教育	本校は、一人一人の特性を把握して、個に応じた教育活動を行っている。	66	48	71	
9		ＩＣＴ活用	本校は、タブレット端末等のＩＣＴ機器を活用した教育活動を行っている。	86	79	88	
10		学力調査活用	本校は、全国学力・学習状況調査や長崎県、大村市の学力調査を活用した教育活動を行っている。	79	60	76	
11	心の教育の充実	人権教育	本校は、人権学習や平和学習、道徳教育等をとおして、人権意識を高める教育活動を行っている。	89	76	90	・「11人権教育」については、概ね肯定的評価を得られた。道徳の授業において授業者を交代しながら全職員で関わっている。アンケートをとりながら、人権意識や平和についての実態を把握し取組を進めている。 ・「12図書館教育」については、図書室内の環境整備やおすすめの本の紹介等広報活動を行っているが、情報発信の必要性を感じる結果である。
12		図書館教育	本校は、図書室やミライｏｎ図書館を活用した教育活動を行っている。	42	35	43	
13	健康・安全教育の充実	健康教育	本校は、各教科の授業や学校給食等をとおして、体力向上や健康増進、食育等の取組を充実させている。	87	77	86	・「13健康教育」については、保健だよりや保健教材の掲示を通じた保健指導で生徒・保護者・教職員共に肯定的な割合が高かった。 ・「14安全教育」については、概ね良好な結果であるが、地域の方から生徒の登下校の様子について厳しいご指摘がある。学級、学年、全校、自転車通学生を集め、生徒自身が自分自身の命を大切にしていくよう全職員で指導の徹底を図る。
14		安全教育	本校は、各教科の授業や避難訓練等をとおして、交通安全や災害対応等についての取組を充実させている。	87	78	91	
15	郷土教育の充実	ふるさと教育	本校は、ふるさと（校区・大村・長崎）の歴史や文化を学ぶ学習を充実させている。	76	77	74	・「16地域貢献活動」については、1年生「地域学習」、2年生「職場体験学習」、3年生「地域貢献活動」を実施した。また、地域から要望があった地域行事には希望者をつのり参加できている。これらのことが肯定的評価に影響していると考える。
16		地域貢献活動	本校は、職場体験学習や地域行事等への参加をとおして、地域に貢献しようとする生徒の育成を行っている。	89	91	100	
17	社会の変化への対応	多様性の尊重	本校は、多様性（ダイバーシティ）に配慮した教育活動を行っている。	72	61	83	・「１８国際理解教育」は具体的にどのような活動を行っているかについて情報発信する必要がある。 ・「１９ＡＬＴの活用」は本校に配置されている３名のＡＬＴを英語科担当が積極的に活用したり、ＡＬＴによる掲示物等から異文化理解を進めている。
18		国際理解教育	本校は、国際理解の充実を図る教育活動を行っている。	68	46	50	
19		ＡＬＴの活用	本校は、英語の授業を中心として、ＡＬＴ（外国語指導助手）を活用した教育活動を行っている。	86	80	98	